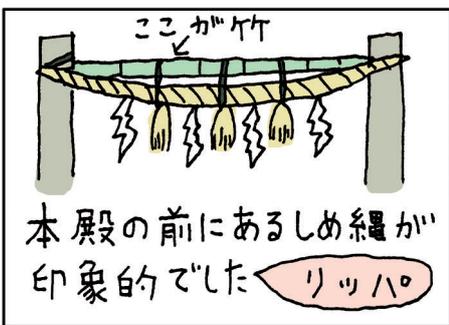


てんさんぽ その51 てんてん 系田川 多沼



山本にある^{まつお}松尾神社に行ってきました。阪急山本駅の北側に降りて、西のほうに歩いて行くと、小さな川に沿った道になり、そこを北に曲がると、こんもりとした緑の丘があります。赤い鳥居が見えて、いかにも神社と言った風情です。階段を上って行くとすぐに本殿で、体力的にもそんなに難所ではありませんでした。ここは、清和源氏の流れをくむ征夷大將軍である坂上田村^{まろ}麻呂の持っていた弓を御神体として創建されました。坂上田村麻呂の幼名「松尾丸」にちなんだ名前です。この地の守護にあたった子孫の坂上^{てんてん}氏が、山本の植木産業の祖となりました。(貂々)

宝塚市大使 やすみりえの「川柳日和り」

本誌3月号で「写真」をお題に川柳を募集。応募総数110句の中から川柳作家のやすみりえ先生が選んだ秀作を紹介します。

天

捨てきれず
一枚だけの
ツーショット

洋子 様

講評

「ツーショット」という言葉から、大切な人との思い出だと分かります。いつまでも手元に置いていた時間の流れも感じられました。

地

食べ歩き
カメラを持って
二刀流

野崎真奈美 様

講評

食べる楽しみと撮る楽しみ。「二刀流」という言葉でうまくまとめましたね。動きのある楽しい場面が浮かびました。

人

アルバムに
淡い青春
クラス会

安井修 様

講評

懐かしい仲間とアルバムを広げている様子が描かれています。「淡い」と表現したところに作者の思いが込められていますね。

佳作

レントゲン胸のモヤモヤ撮ってくれ

高福誠 様

何事も遺影に喋る癖がつき

植松生夫 様

アイドルを撮るテンションでケーキ撮り

七夕ぜん哉 様

ハイポーズ家族の声に幸せを

佐藤光子 様

やすみ先生の一句

撮る人も笑顔ハッピーウエディング

先日、親戚の結婚式に参列しました。新郎新婦を囲んで写真を撮り合う風景、みんなが笑顔にあふれている様子を川柳にしてみました。



総評

今回は、皆さんの素直な気持ちが込められた作品が多く寄せられた印象です。天地人のほか、佳作の4句も場面がパッと浮かんだり、共感できる内容ですので作句の参考にしてみてください。日頃からさまざまな言葉に触れて、語感をさらに磨いていきましょう。

お 題 「手」

募集締切 7月16日(火)まで

対 象 市内在住・在勤・在学の人

応募方法 はがきに、基本事項とお題をもとにした川柳(未発表作品のみ、3句まで)、作品について一言書いて、〒665-8665(住所不要)市役所広報課「川柳」係へ。二次元コードから申し込み可。入賞者にはプレゼントあり。

☎ 広報課 ☎ 77・2002 ☎ FAX 74・6903

